



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和4年1月27日
第428号



新年！2022年スタート！

施設長 松永行弘



大寒の候、みなさんいかがお過ごしでしょうか。新しい年がスタートしましたが、新型コロナウイルスが拡大し落ち着かない日々が続いています。体調を崩しませんようくれぐれも気をつけてお過ごしください。

2022年の干支「寅」は、厳しい冬を超えて芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだそうです。また、虎は毛皮の模様から全身が夜空に輝く星と考えられていた存在で、「決断力と才知」の象徴としての意味があり、縁起物としても親しまれているそうです。疾病や災禍が相次ぎ、一年の計を立てることは容易ではありませんが、こんな時だからこそ、できる範囲で新しい物事に挑戦してみたいかがでしょうか。ぜひ挑戦する心を持ち続けてください。

ところで、みなさんは新年になってどんな初夢をみましたか。昔から夢で一年の運勢をうらなう習俗があります。初夢には中身によって意味が込められていました。「一富士、二鷹、三なすび」という言葉を聞いたことがあると思いますが、これは初夢にみると縁起がよく、良い事があるとされているもののベスト3です。「富士山」は、天高くそびえたつ。「鷹」は、鋭いくちばしと爪で運をつかむ。「なすび」は、物事を「成す」で成功のこと。

新しい芽がそれぞれ成長し、大きな夢をもち、その実現に向けて一步一步努力を続けていってほしいと願っています。

【作業所の様子】

【農耕：ハッサクの収穫（不知火）1/6～】



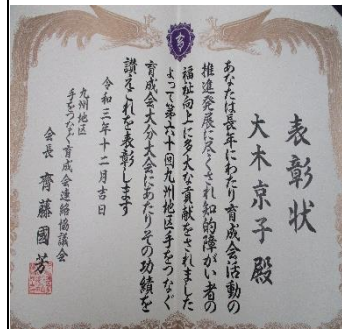
とても甘く自信をもっておすすめできるハッサクです。無人販売や地域（町内回収先）への販売など様々なところから注文を頂いています。

【パイロットクラブさんよりお菓子寄贈(1/14)】



今回もコロナ禍で「ぜんざい」は中止となりましたが、会長の定律子さん、陣内ヒロミさんが来所され楽しく時間を過ごすことができました。利用者さんに一人ひとりにお菓子を渡され、とても喜ばれていました。ありがとうございました。

【第60回九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会会長表彰】



育成会の世話人から評議員を経て、平成21年度より作業所の支援員として勤務され、献身的支援は他の模範となっています。

【信書便ドライバーさん入職のお知らせ】

新しい信書便（集配）のドライバーとして、酒井敏朗さんが12月13日より勤務されています。とても優しく、利用者さんとともに一生懸命仕事をされています。